

給水装置工事写真撮影チェックシート

ver.1

※1 水道引込工事 工事写真撮影見本(例)も参照のこと

※2 本復旧の写真はなくても可とする

※3 写真1枚で複数項目の撮影は可とする

※4 下記に示していない項目についても審査時に別途指示する場合があります。

	工程	細別	留意点	確認欄
共通	着手前		道路から敷地へ向いたアングルで撮影する	
	完了		着手、完了は同一アングルとする。	
公道工事	土工(掘削)	舗装切断・濁水処理	切断状況及び濁水回収状況を撮影する。	
		舗装掘削及び積込	ガラをバケツ内に入る大きさに破碎する。	
		既設舗装版厚み検測	表面を下にし検測する。	
		残土掘削及び積込		
	分木工(共通)	配水管出幅・土被り	写真1枚に収まらなければそれぞれ撮影する。メモリが見えない場合はアップの写真を撮る。検測メモリの"0"は申請地側の官民境界とする。	
		分水完了	分水、公道内配管が完了した状態の写真を撮影する。	
	サドル分木工	融着状況(PEP)	接合完了後インジケータの隆起状況を撮影する。 必要に応じ拡大写真を撮影する。	
		穿孔状況、穿孔コア	コアは穿孔機に付いた状態で撮影する。本管がDIPの場合はコア写真は不要とする。	
		サドル端離隔確認	継手等からの離隔は300mm以上必要。	
		ホリスリーブ被覆	PEP管の場合は不要とする。	
		密着コア設置(DIP)	設置状況及び設置前後のコア挿入機を撮影する。	
	土工(埋戻)	細粒改良土等埋戻工	人力転圧状況を撮影する。転圧完了後に基準高さからの下がりを検測し撮影する。	
		改良土等埋戻工	転圧完了後に基準高さからの下がりを各層毎に検測し撮影する。1層あたりの厚さは20cm以下とする。	
		セフティーライン設置	セフティーライン設置完了後撮影する。基準高さからの下がりを撮影する。	
		路盤工	転圧完了後に基準高さからの下がりを各層毎に検測し撮影する。1層あたりの厚さは20cm以下とする。	
	舗装仮復旧工	舗装仮復旧(完了)	完了全景を撮影する。区画線もスプレー等で復旧する。舗装に受付番号を青色スプレーで記入する。	
民地内工事	弁栓類等設置	乙止水栓設置	乙止水線設置完了後撮影する。蓋を開けた状態で撮影する。バルブが確認できるように撮影する。	
		メータボックス設置	メータボックス撮影後の敷地全景写真を撮影する。敷地・メーター・第一止水が収まるように撮影する。官民境界・隣地境界からの距離を検測する。	
		水道メーターボックス内	メーターボックス内の写真及び栓番シール、業者票を撮影する。メーターの蓋を開けて撮影する。栓番シール、業者票の文字が鮮明に写るように撮影する。支分・連合の場合は全ての水道メーター及び業者票の写真が必要。メーター・丙止水栓が容易に交換できる位置にあることが分かるように撮影する。集合住宅連合の場合水道番号をメーターボックス内側へ記入する。メーター出庫をしていない場合は間隔棒の設置でも可とする。	
その他	品質管理	残留塩素確認	申請地を背景に撮影する。取出工事後すぐに確認し、報告書を1週間以内に提出すること。(取出工事を施工した場合のみ)	
	安全設備	保安設備	警察協議で許可を受けている保安設備を設置した状況を撮影する。	
		工事看板等	工事看板への道路使用許可番号の表示が確認できるよう撮影する。発注者は施主とすること。	
	交通整理員	交通整理員配置状況、誘導実施状況を撮影する。		